

◎図書委員会サミットが行われました！（7/31）



第9回目の図書委員会サミットが終了しました。今回は 18 小学校、12 中学校から生徒児童 54 名、先生 30 名 の参加となりました。情報館のホールは静かな熱気に包まれました。

水沢小、松代中の実践発表では、クイズを交えて様々な取り組みが紹介され、参加者はみな、興味深く聴いていました。



その後、各部屋に移動し、グループに分かれて、活動発表、意見交換、推し本を紹介しました。「図書室になかなか来てくれない」「イベントをしても高学年の参加者が少ない」など、それぞれの学校で抱える悩みを出し合いました。他校の取り組みから、解決のヒントをもらい、実践してみよう！という意気込みが感じられ、心強い気持ちになりました。今回も中学生が立派に司会進行役を務めてくれている姿が印象的でした。

年に1度こうした機会があることは、大変有意義なことと思います。十日町市独自の素晴らしいイベントです！！



◎推し本リスト

図書委員会サミットでみなさんに紹介していただいた推し本を、リストにまとめました。データをお送りします。選書の参考にしたり、図書委員会活動として校内で紹介するなど、読書活動の推進に役立てていただけたら幸いです。

『ぼくのたった一つのミス』 岩崎書店藤原圭/文 中島花野/絵 高橋暁子/監修
(川西中3年生さんの推し本です)



◎夏休みに図書室の整備



鑑島小学校の先生（6人）と情報館職員（2人）で図書室整備を行いました。人手が多く、作業が大変スムーズでした。今回は、①廃棄する本の選書 ②修理が必要な本の選書を主に行いました。

情報館職員が廃棄する本を選書していき、先生方がパソコン入力をして除籍作業を進め、背表紙が褪せてしまった本が沢山あったので、それらを棚から抜き取る作業も同時に進めました。

今回終わらなくても本のタイトルをパソコンで入力、印刷しておく、図書委員さんやボランティアの人たちなど、誰でもいつでも背表紙を修理することができます。

情報館からの派遣は2時間と限られています。効率よく作業を進めるために、まずは下見に伺い、お悩みに合わせて、手順を考え、読書環境を整えるお手伝いをさせていただきます。

